

事業評価調書

◎基本情報

年度	令和3年	会計コード	10	一般	事業コード	38451	
事業名	文化財施設等保全費						
評価担当課	所属名	市)文化財課					
	課長名	森 謙	担当者名	澁谷・刈田	電話番号	011-211-2312	
施策名	主	魅力あるまちづくりと観光振興の一体的推進					
	副						
アクションプラン	● 対象 ○ 対象外		戦略ビジョン	● 対象 ○ 対象外			
事業の性質	○ 経常経費 ● 臨時的経費						
	○ 内部管理 ○ 法定経費 ○ 指定管理						
事業内容	実施形態	○ 直営 ● 一部委託 ○ 全部委託 ○ 補助助成 ○ その他					
	目的	短期	各施設の保全計画に基づき改修工事を実施する。文化財施設については、耐震化工事を実施する。				
		長期	文化財施設等の歴史的価値を保ち、次世代に継承する。				
	取組内容	文化財部が所有する文化財施設及び郷土資料館について、計画的な保全を行うために、保全計画に基づき改修工事等を実施する。また、文化財施設については、将来に継承していくために、耐震化工事を実施する。 ①耐震改修等基本設計(清華亭) ②保全計画に基づく改修(旧永山武二郎邸、新琴似屯田兵中隊本部、手稲記念館等) ③維持管理および事後修繕(時計台、清華亭、旧黒岩家住宅、札幌村郷土記念館等)					
	実施結果	各施設の保全計画に基づき予防修繕及び事後修繕を当初計画通り実施することができた。清華亭についても、耐震改修基本検討を実施した。					
事業実施における工夫点	なし						
対象者	市民、観光客、伝統文化の保存伝承を行う団体			開始	0 年度	終了	0 年度
関連法令・条例・要綱等	文化財保護法、北海道文化財保護条例、札幌市文化財保護条例、札幌市文化芸術基本条例						
他都市の状況	必要に応じて修繕等を実施している。						

◎事業費

(単位:千円)

	令和2年度決算	令和3年度予算	令和3年度決算	令和4年度予算
事業費	29,615	21,000	15,723	49,000
うち特定財源	0	0	0	11,000
人工	1.4	1.4	1.4	1.4
人件費	10,080	10,080	10,080	10,080
計(事業費+人件費)	39,695	31,080	25,803	59,080
事業費の内訳	令和3年度決算	決算額 29,615千円		
	令和4年度予算	予算額 21,000千円		

◎検証(振り返り)

活動指標1		指標名	文化財施設等の改修・耐震化に着手した件数(累計)			
		令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定	
		10	13	17	20	
活動指標2		指標名				
		令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定	
成果指標1		指標名				
		令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標	
成果指標2		指標名				
		令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標	
項目	判定	理由				
事業の成果 (目的をどの程度達成できたか)	A	各施設の保全計画に基づき予防修繕及び事後修繕を当初計画通り実施することができた。清華亭についても、耐震改修基本検討を実施した。				
事業規模 (事業ボリュームは適切か)	B	札幌市は積雪寒冷地のため、文化財の外壁修繕等は5月から11月の期間内しか実施できない。このため、現状の事業規模が妥当な修繕発注規模と考えられる。				
事業の実手法 (事業の効率性、実施主体は適切か)	A	修繕等は委託により実施するため、見直しの必要ないと考えられる。				
対象者の満足度 (対象者のニーズに応えているか)	A	各施設の保全計画に基づき文化財施設の修繕をおこなうことで、貴重な文化財を確実に次世代へ引き継いでいくことができる。				
市民参加の実施	<input type="checkbox"/> 企画 <input type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 評価 <input checked="" type="checkbox"/> 対象外 市民参加結果への対応 <input type="checkbox"/> 回答 <input type="checkbox"/> 反映					
今後の改善点	保全を要する劣化変状箇所は多数あるが、予算の規模および平準化を図るための制約から、対策優先順位の高いものから修繕事業を進める必要がある。 しかしながら、どうしても事後修繕が優先されてしまうため、計画的に予防修繕へも事業を振り分ける事業配分を行う事が今後の課題である。					
前回の評価	● A ○ B ○ C ○ 評価省略対象事業・前年度実施なし					
今年度取り組んだ見直し内容	なし			見直し効果額 (前年度)	0 千円	
今回の評価	● A ○ B ○ C ○ 評価省略対象事業・前年度実施なし					
評価の理由	保全計画に基づく改修等及び耐震化や防火対策に着手することで、文化財として適切に保存するとともに、文化財施設の歴史的価値を保ち未来へ継承することで、札幌への愛着を深め魅力ある地域づくり及び観光振興に寄与する。					
次年度の取組の方向性・改善内容	事業内容	<input type="checkbox"/> 改善 ● 現状維持 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 修繕等によって貴重な文化財として適切な保全がなされ、観光施設としての魅力向上にも寄与する。文化財特有の燃焼特性(脆弱性)を理解し、周囲の環境と調和させつつ火災等の災害から守るための防災施設整備を推進する。				
	予算	● 拡充 ○ 現状維持 ○ 縮小 ○ その他			見直し効果額	0 千円
		計画的な予防修繕の実施を進める。 耐震改修と保全工事を併せて計画的に実施する。 国指定重要文化財の防火対策強化を図る。			見直し効果額	0 千円